

2009年度 日本文化人類学会 第8回 理事会 議事録

日時：2月14日（日）14：00－18：00

場所：上智大学 四ッ谷キャンパス 2号館 2-630a

出席者：山本、赤堀、上杉、鏡味、春日、岸上、葛野、窪田、栗田、桑山、須藤、
関根（康）、吉岡、和崎

委任状提出：太田、坂井、佐々木、瀬川、関根（久）、鷹木、松田、名和

〔承認事項〕

1. 2009年度第6回理事会議事録案
 - ・前回（2009年度第6回）理事会議事録を文言を調整の上、承認。
2. 2009年度第7回理事会議事録案
 - ・理事会メーリングリストによる持ち回り理事会（2009年度第7回）議事録を承認。
3. 新入会員の承認
 - ・新入会員（11名）につき、総務会で入会を承認したことを報告の上で事後承認。
4. 愛知大学国際中国学研究センター共同研究拠点化要請書の作成依頼
 - ・愛知大学国際中国学研究センターの共同利用・共同研究拠点化に関する要望書の提出依頼があり、総務会で検討の上、要望書を提出したことを報告、事後承認された。

〔報告事項〕

1. 会長報告
 - ・国立情報学研究所主催の第7回 SPARC Japan セミナー2009「人文系学術誌の現状－機関リポジトリ、著作権、電子ジャーナル」での講演が国立情報学研究所のホームページで公開されていることを報告。
 - ・2011年～2014年度研究大会開催校（機関）選定の進捗状況を報告。
2. 庶務理事報告
 - ・前回理事会で承認された「神奈川大学常民文化研究機構／常民文化研究所国際シンポジウム後援依頼への回答」の作成及び送付を行なったことを報告。
3. 会計理事報告
 - ・各委員会担当理事に対し、2009年度予算の執行状況を確認するよう要請があった。
4. 総務理事報告
 - ・前回理事会で承認された「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会報告書についての見解」を作成し、内閣官房長官宛てに送付したこと、またその写しを北海道アイヌ

協会と朝日新聞社へ送付したことを報告。

- ・前回理事会で承認された「地方分権改革推進委員会第 3 次勧告における博物館法の見直しに対する反対声明」を作成し、関係各所へ送付したことを報告。

5. 広報理事報告

- ・第 44 回研究大会の参加申込が 2010 年 2 月 3 日より開始されたこと、現在 E-mail と FAX で参加登録を受け付けているが、準備が整い次第ホームページからの参加申込受付も開始する予定であることを報告。

6. 各種委員会報告

- ・『文化人類学』編集委員会：「大塚和夫氏追悼」の掲載された『文化人類学』74 巻 3 号を故大塚和夫会員のご遺族へ献本したことを報告。
- ・JRCA 編集委員会：JRCA Vol. 10 の入稿が完了したことを報告。
- ・国際連携委員会：学会誌の海外送付先のリストに基づき、今後は現在定期購読している機関に対し JRCA も購読してもらうよう依頼する予定であることを報告。
- ・部会制導入検討委員会：「部会制導入検討委員会の答申」（案）について説明があり、本学会の規模で部会制を導入するのは時期尚早であり、それに代わる「研究グループ制」案が報告された。
- ・学会歴史委員会：旧民族学振興会資料の公開準備作業の進捗状況、公開可能なものについては実費で販売する予定であることを報告。
- ・研究大会運営検討委員会：第 44 回研究大会発表に関する査読結果及び査読者に対するアンケートの集計結果について資料に基づき報告。現行の「査読要領」は当面「要領」のままとし、今後の検証作業を経て「規定」に変更する予定であることを報告。次回以降の研究大会においては、各分科会での発表会員数の割合を一定数以上に規定してはどうかとの意見が出され、次期理事会へ申し送ることとした。
- ・地区研究懇談会担当委員：各地区の研究会開催状況、開催予定を報告。
- ・倫理規定検討委員会：倫理綱領の英語版（案）を提出する予定であることを報告。
- ・文化人類学教育特別委員会：フィールドワーク教育用副読本が 2010 年度中には刊行予定であることを報告。

7. 第 24 回評議員選挙管理委員会報告

- ・第 24 回評議員選挙の選挙人名簿確定作業を行なった結果、地区別有権者数の変動により、関東地区の評議員定数が 1 名減り、関西地区の評議員定数が 1 名増加したことを報告。放送大学や日本学術振興会所属の学生の選挙区確定方法について今後検討の必要があること、第 24 回評議員選挙管理委員会から次期選挙管理委員会への申し送り事項について報告。

8. その他

- ・葛野理事より、第 44 回立教大学研究大会の準備作業の進捗状況について報告があった。

〔審議事項〕

1. 2009 年度事業報告・2010 年度事業計画（案）

- ・上杉理事より配付資料に基づき説明があり、各項目の確認を行なった。また、今後事業報告・事業計画（案）に変更がある場合には、文案を上杉理事に提出することとした。

2. 学会賞の選考

- ・学会賞選考委員会委員長の吉岡理事より、学会賞選考委員会による選考結果が報告され、投票の結果、学会賞を山下晋司氏、学会奨励賞を卯田宗平氏に授賞することが承認された。承認後、授賞理由の文言調整を行い、授賞理由の作成については最終的に総務会に一任することが承認された。
- ・学会賞選考規則の見直しについては、次期理事会へ申し送ることとした。

3. 学会誌寄稿規定の改定

- ・『文化人類学』編集主任の春日理事より、学会誌寄稿規定の改定案が提出され、文言を調整した上で、承認された。改定部分は別紙の通り。
- ・また、春日理事より、物故会員の論文の学会誌への掲載について提案があり、経緯の確認と意見交換を行った結果、未完の原稿であり、著者本人の論文掲載の意志が確認できないこと等から、学会誌への掲載とは別の形で出版することを関係者に勧めることとした。

4. 丸善委託保管分学会誌の引取り

- ・丸善株式会社より学会誌バックナンバーの委託保管分の引き取り依頼があったことが報告され、審議の結果、引き取った学会誌バックナンバーを第 44 回研究大会会場で販売することとした。

5. その他

- ・教職単位履修に関する文部科学省への要望書（文化人類学・民族誌の追加）を送付することが承認された。

以上

『文化人類学』寄稿規定

※変更部分に下線

改定前	改定後
<p>4. 枚数</p> <p>枚数（400 字詰原稿用紙 1 枚計算）には原則として下記の制限を設けます。いずれも本文、注、参考文献、図表を含めた枚数です・・・・・・・・</p> <p>5. 投稿形式</p> <p>投稿は原則として電子文書とし、e-mail の添付ファイルまたは電子媒体（フロッピーディスク、MO ディスクまたは CDR）の郵送で受け付けます。原稿は、寄稿規定 9 にあります・・・・・・・・</p>	<p>4. 枚数</p> <p>枚数（400 字詰原稿用紙 1 枚計算）には原則として下記の制限を設けます。<u>電子文書では 40 字を 1 行とし、10 行をもって 1 枚と換算してください。</u>いずれも本文、中、参考文献、図表を含めた枚数です・・・・・・・・</p> <p>5. 投稿形式</p> <p>投稿は原則として電子文書とし、e-mail の添付ファイルまたは電子媒体（・・・・）の郵送で受け付けます。<u>図表や写真は可能なかぎり本文中に挿入して下さい。</u>原稿は、寄稿規定 9 にあります・・・・・・・・</p>

2010 年 2 月 14 日改定

『文化人類学』執筆細則

※変更部分に下線

改定前	改定後
<p>14. 参考文献</p> <p>・・・・・・・・</p> <p>なお、邦訳が出版されている場合は下記のようにします。</p> <p>DOUGLAS, Mary</p> <p>1966 (1972) <u>Purity and Danger: An Analysis of Concepts of Pollution and Taboo.</u> Praeger. (『汚穢と禁忌』塚本利明訳：思索社)</p>	<p>14. 参考文献</p> <p>・・・・・・・・</p> <p>なお、邦訳が出版されている場合は下記のようにします。</p> <p><u>SAHLINS, Marshall</u></p> <p><u>1985 (1993) Islands of History. The University of Chicago Press. (『歴史の島々』山本真鳥訳：法政大学出版局)</u></p> <p><u>邦訳のみを参照した場合は次のとおりです。</u></p> <p><u>サーリンズ、マーシャル</u></p> <p><u>1993 『歴史の島々』山本真鳥訳、法政大学出版局。</u></p>

2010 年 2 月 14 日改定